

令和4年第1回定例会

総括質疑通告一覧表

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
1 絆・新しい風 青木 浩 3月3日/150分	1 施政方針から、市長の基本的な考えについて	(1) 任期が3年3か月経過した。これまでの課題やご自身の評価を伺う。 (2) 施政方針は3つの柱として施策を展開するとされている。あえてこの3つの柱にした考えを改めて伺う。 (3) 市長就任から今任期最後の施政方針になる。就任時に描いた政策に対してどのように取り組むのか伺う。 (4) 総合計画における実施計画の策定を2年先送りした。令和5年度からの実施計画実施に向けて令和4年度はどのような位置づけとなるのか。併せて、その決意を伺う。	
	2 令和4(2022)年度予算について	(1) 財政健全化緊急対策の最終年度でもあり、コロナ禍により、歳入と歳出の両面に多大なる影響を与えている中で予算編成になった。この予算編成に対する市長の思い、また、この編成に至った根拠、経緯を伺う。 (2) コロナ禍を受けて、その対策や社会経済のダメージ回復への取り組みと財政健全化緊急対策最終年度という相反する取り組みを戦略的に行う必要があると思うが、どのように取り組まれるのか伺う。 (3) 経常収支比率について、財政の硬直化に歯止めがかからない状況をどう打破するのか、考えを伺う。	
	3 令和4(2022)年度主要な事業について	(1) デリバリー給食の実施に向けたモデル事業について ・この事業を機に導入に向けて一気に加速されるのか、また、今後の見通しはどのように考えているのか伺う。 (2) 国土強靱化地域計画の策定について ・相模川左岸築堤工事は本市の最大の課題である。市の把握している国の整備予定状況及び当該地域の市道整備について伺う。 ・インフラ整備のみならず、避難行動等、防災意識向上のためのソフト面を充実させることが重要と考えるが、その取り組みを伺う。 (3) (仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館整備事業について ・当該施設の活動方針として、プレオープンが夏に予定されながら「市民・利用者と共に」というコンセプトについての具体的な動きが見えない。開館に当たり、今後どのように準備、計画がなされていくのか伺う。 (4) ごみ減量化推進事業について ・令和4年4月1日からごみ有料化がスタートする。さまざまな媒体で市民への告知を行っており、25%のごみ減量为目标値に掲げているが、市民一人一人がごみ減量に対して取り組んでいただくことが重要である。有料化がスタートするに当たり、取り組みを伺う。 ・コンポストや生ごみ処理機等の補助制度の補助金については、拡充するべきだが、考えを伺う。 (5) 道の駅整備推進事業について ・令和4年度にDBO事業者の募集が始まる。選定委員会の公平性の確保及び公開を求めるが、取り組みを伺う。 ・基本構想は平成28年に策定された。このコロナ禍における事態でこのような集客・商業施設などは課題が浮き彫りになり、策定時から社会情勢も変化した。再度、茅ヶ崎市が打ち出す道の駅ビジョンや運営・形態を精査し、茅ヶ崎市らしさの創出に向けて募集事業者に要求すべきと思うが、考えを伺う。 (6) 市有財産活用基本方針に基づく市有財産の活用の推進及び公共施設等総合管理計画の推進について ・市内には市有地として、いわゆる塩漬け状態の土地がある。これらの土地について考えを伺う。 ・建築物系公共施設の総量縮減と配置の適正化によるコスト縮減に向けた取り組みについて、重要なポイントは総量の縮減であるが、市民サービスが衰退しないか心配している。今後、どのように市民に理解をしていただくのか。その取り組みを伺う。 ・コロナ以後の回復期に当たり、今まで以上に市民活動を支援すべきと考え。その市民活動の場、施設が縮小されることについて、市の考えを伺う。 (7) 地域公共交通計画の策定について ・市内の公共交通をどのように進めていくのか、市の考えを伺う。	

1

絆・新しい風

青木 浩

3月3日/150分

3 令和4(2022)年度主要な事業について	<p>(8) シティプロモーション推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・「市の魅力とブランド力を磨き上げる」ために、コロナ禍の状況下でどのように推し進めていくのか、取り組みを伺う。 <p>(9) 子ども未来応援基金活用事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・限られた財源の中、さまざまな他の事業の要望も多いが、それらの兼ね合いをどのように整合性を図り進めていくのか、考えを伺う。 <p>(10) 市立病院の経営健全化の推進に関する事務について</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年度から地方公営企業法の全部適用に移行するとされている。コロナ禍でもあり、以前との比較が難しい中で、全部適用につなげるこの一年間をどのように経営していく考えなのか。公立病院の重要性がさらに注目されてきている状況下でリバイバル・ロードマップ最終年度をどのように取り組むのか。抜本的な経営形態の見直しも視野に入れるのか。また、経営立て直しについての実効性ある施策について、意気込みを踏まえた考えを伺う。	
4 「ウイズ・コロナ」における教育現場・生活形態について	<p>(1) コロナ禍での学校での取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ感染期間が2年を過ぎようとしている。教育現場における感染児童・生徒の対応策はどのように行っているのか。さまざまな学校行事などが自粛され、子どもたちの精神的な側面も注視しなくてはならない。誹謗中傷、差別などいじめが起きてはならない。また、感染した子どもたちへのケアも大切であるが、取り組みや検証できたことについて伺う。 <p>(2) 諸事情によりマスクを着用できない方々への配慮について</p> <ul style="list-style-type: none">・感染拡大防止としてマスクの着用が推奨されている。その場面が多くなる中、体の障害等、さまざまな理由によりマスクの着用ができない方への理解が進まない現状がある。そういった方々への対応について、市はどのように認識しているのか伺う。また、教育現場において、マスク着用が半ば強制のような空気になっていないか、差別につながらないような取り組みはされているのか、取り組みを伺う。 <p>(3) 体育などの運動時におけるマスク着用の必要性について</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ庁は運動を行う際にマスクを着用する場合、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクを指摘している。また厚生労働省も着用している場合としていない場合とを比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあるため、周囲の人との距離を十分に確保できる場合はマスクを外すよう啓発している。教育委員会としてどのような認識か伺う。	
5 これからの市政運営について	<p>(1) コロナ禍の経験を踏まえた、新たな社会システムへの対応について</p> <ul style="list-style-type: none">・DXの推進に向けた組織運営について。電子契約など順次取り組みを始めてはいるが、窓口業務中心の市役所からすると難しいのは理解するものの、一方ではスピード感もこれからは必要と考えている。今後の取り組み、考えを伺う。また、AI・RPA活用などによって事務負担の軽減を図ることにより、市民サービス向上にどうつながるのか、考えを伺う。 <ul style="list-style-type: none">・効率的な組織運営について。財政健全化緊急対策の歳出削減策の一つである総人件費の削減の取り組みでは、削減効果が出ていると認識しているが、今後の定年延長や市立病院の全部適用による病院採用職員の増加が見込まれることが予想され、一般事務職員の採用が困難になり、技術の継承や組織の年齢構成のバランスが崩れる問題になると推測されると推測される。戦略的な採用計画を検討すべきと考えるが、その考え方を伺う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
2 ちがさき自民クラブ 小島 勝己 3月3日/150分	1 予算編成について	(1) 2022年度当初予算は、今後の見通しが立ちにくい状況から実施計画を見送り、持続可能な市政運営を進めていくことにしているが、市内で停滞している社会・経済活動をどのように再生していくかが大きな課題である。将来世代に恩恵をもたらす、インフラ整備や公共施設等の整備の取り組みが消費需要となつて茅ヶ崎市の機能維持と活性化につながるものと考えているが、所見を問う。	
	2 新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 新型コロナウイルスの新変異株の急拡大に対する、次の感染拡大防止対策について問う。 ・新型コロナウイルスの新変異株のまん延防止に対する対応について ・格段に感染力の強い新変異株の伝播が続けば、医療体制のひっ迫が危惧されるが、その対応について ・第6波では感染者が急増した。自宅療養者が増えれば急変時に確実に治療を受けられる体制が必要となるが、その対応について ・子ども、児童・生徒の感染による休園、休校が第5波のピーク時を大きく上回ったが、その対応について	
	3 財政の健全化緊急対策について	(1) 財政健全化緊急対策は令和4年度が最終年度であるが、次の事項について問う。 ・財政健全化に対する2年間の取り組みに対する成果と課題について ・財政健全化に対する最終年度としての具体的な取り組みと目標達成の見通しについて	
	4 市立病院の運営について	(1) 市立病院の経営改革のため、リバイバル・ロードマップを進めているが、次の事項について問う。 ・リバイバル・ロードマップに基づき3か年にわたって取り組んできた経営改革の成果と課題について ・経営形態の変更に伴う準備と市立病院の将来ビジョンについて ・将来ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みについて	
	5 デジタル・トランスフォーメーションについて	(1) デジタル社会の実現に向けた、デジタル化の推進と施策や取り組みの徹底をデジタル庁は求めている。次の取り組み状況について問う。 ・デジタル社会に向けた、デジタル基盤整備計画の取り組みについて ・医療、教育、防災、子ども等に関する生活に密着した行政手続きの改善状況について ・デジタル社会に必要なマイナンバーカードの普及、利用促進の取り組みについて ・デジタル化に伴う人材(システムエンジニア、ソフトエンジニア等)の確保と育成について	
	6 防災対策について	(1) 各地で震度5弱の地震が相次いでいるが、強い揺れが現実になった場合のことを考え、その対応について再確認の必要がある。頻発している地震に鑑み、次の事項について問う。 ・帰宅困難者対策について ・津波警戒区域設定と要支援者の避難対策について ・災害ごみ置き場の設定について ・福祉避難所の設定について	
	7 地域共生社会の推進について	(1) 社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域共生社会の実現につながる地域づくりについて、次の事項の具体策を問う。 ・地域の複合的課題に対応する包括的相談支援体制の構築支援について ・多様な担い手の育成、参画による地域づくりについて ・専門人材の確保と活用について ・地域の重層的支援体制の整備について	
	8 子育て・教育について	(1) コロナ禍の長期化で臨時休校や学校行事の中止などで子どもや保護者の負担が大きいが、未来に対して希望が持てるように取り組むことが重要であり、次の事項の対応について問う。 ・教科担任制(小学校)について ・ヤングケアラーの実態調査と支援体制について ・GIGAスクール、35人学級の実施に伴う成果と課題について	
	9 ごみの有料化について	(1) 令和4年4月からごみの有料化が始まる。ごみのさらなる減量化を進めるため有料化を導入するものであるが、実施に当たり次の事項について問う。 ・有料化に当たっての現時点での課題と対策について ・環境指導員との連携について ・減量化による効果の見込みについて	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
3 公明ちがさき 滝口 友美 3月4日/120分	1 令和4年度予算について	(1) 令和4年度予算編成と、市民ニーズに基づく事業とのバランスについて問う。	
	2 感染症防止対策について	(1) 感染拡大を防ぐために、感染対策の再普及について問う。 (2) 子どもを自宅で看病する場合の対応の周知について問う。 (3) 新たな変異株に対する正しい情報の周知について問う。	
	3 DXの推進について	(1) 本市におけるDXによる基盤をどう作っていくのかを問う。 (2) マイナンバーカードの普及促進について問う。	
	4 GIGAスクールの推進について	(1) 不登校の児童や生徒へのタブレット端末活用について問う。	
	5 シティプロモーションについて	(1) アニメによるシティプロモーションの強化について問う。 (2) バーチャルも含めた歴史と文化の街茅ヶ崎のアピールについて問う。	
	6 中学校給食について	(1) モデル校を選定した試行内容について問う。	
	7 防災について	(1) 地域防災力を強化するための「気象防災アドバイザー」の活用について問う。	
	8 男女参画について	(1) ジェンダーギャップ解消のための、女性の人材育成について問う。	
	9 環境政策について	(1) 本市におけるカーボンニュートラルの取り組みについて問う。 (2) 「ブルーカーボン」によるCO2削減の取り組みについて問う。	
	10 市内企業の活性化について	(1) 中小企業・小規模事業者の強みを引き出し、売り上げをアップする自治体主導の産業支援モデル「ビズモデル」の活用について問う。	
	11 相談体制の強化について	(1) 長引くコロナ禍の影響による孤独・孤立の問題への取り組みについて問う。 (2) 「福祉総合相談」の進捗状況について問う。 (3) 「茅ヶ崎市こどもセンター」の相談体制の強化について問う。	
	12 介護人材の確保・定着について	(1) 介護人材不足の現状把握とそれらに基づいた施策設計のための体制構築について問う。	
	13 市立病院について	(1) 地方公営企業法全部適用に向けた取り組みについて問う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
4 未来創生・ 湘風クラブ 広瀬 忠夫 3月4日/120分	1 これからの市政運営について	(1) 令和4年度は2年間先送りした実施計画を策定し令和5年度以降の茅ヶ崎市のゆくえと将来の都市像に向けた大事な年であるが、施策の具体的な考え方について伺う。 (2) 茅ヶ崎市の魅力を高め住んでみたいと思われるまち、選ばれるまちになるための今までの取り組みと今後の方針について伺う。 (3) デジタル・トランスフォーメーションの推進方針について、これまでの成果と令和4年度の取り組みについて伺う。	
	2 地域経済の活性化について	(1) 地域経済の回復に向けての具体的な施策について伺う。 (2) 令和7年度開設に向けた道の駅の進捗状況について伺う。 (3) ふるさと納税の活性化とさらなる取り組みについて伺う。 (4) 農業の振興策と支援について伺う。	
	3 コロナ感染症拡大防止と対策について	(1) 市内保健所管轄内での感染者の状況とその入院を含め詳細について伺う。 (2) 新型コロナウイルス感染症に強いまちづくりに資する対策とは、具体的に取り組む内容について伺う。 (3) ワクチンの3回目接種率と見直しについて伺う。	
	4 学校教育について	(1) 中学校給食の実現に向けた取り組みと進捗状況について伺う。 (2) GIGAスクール構想に基づき整備したタブレットの授業における活用度、効果について伺う。 (3) スクールソーシャルワーカーの体制拡充について伺う。 (4) 教員の働き方改革と資質向上について伺う。	
	5 子育てしやすい環境整備について	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う小児医療費助成事業について伺う。 (2) 子ども未来応援基金活用事業について伺う。 (3) シティプロモーション推進事業について伺う。 (4) 産後ケア事業の今までの取り組みと今後の実施内容について伺う。	
	6 市立病院の経営改革について	(1) 市立病院の経営形態を変更することについて、これまでの経緯と市としての考えを伺う。	
	7 茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方について	(1) 全ての市民の生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けての今までの取り組みと今後の方針について伺う。 (2) スポーツツーリズムを通じてのスポーツ振興について伺う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">5</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">新政ちがさき 岸 正明</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">3月4日/90分</p>	1 感染症拡大防止対策について	(1) 「早期発見・早期治療」のための検査だけでなく、「イベント等で集まる前に検査・拡がる前に検査」といった予防的な検査をする姿勢について問う。 (2) コストをかけず、経済・社会を止めずに、市民への負担を減らすことのできる検査体制の整備について問う。	
	2 子育て支援、教育施策について	(1) 小児医療費について、保護者の負担軽減、事務量の軽減の意味からも自己負担と所得制限を撤廃することについて問う。 (2) G I G Aスクール構想について、教育デジタル・トランスフォーメーションの推進で、学校・教員格差が危惧され、また、ネット上のいじめなど新たな課題も生じている。教員への研修・相談体制、児童・生徒へのネットリテラシー教育への考え方を問う。 (3) 中学校完全給食の進捗を問う。	
	3 福祉施策について	(1) 市民としては「地域包括支援センターは高齢者支援を行う場」という認識がある。福祉相談室が地域包括支援センターに吸収され、市に総合相談担当を置くこととなるが、そうすると分野を問わない福祉課題の相談が地域から離れることが危惧されるが、見解を問う。	
	4 ごみの有料化導入に当たって	(1) 食品ロス削減の取り組み強化が必要である。家庭などで活用されていない食品を持ち寄り、フードバンクを通じて食の支援が必要な方に届ける「フードドライブ」活動が広がっている。コロナ禍で一層深刻化する社会的課題（生活困窮、子どもの貧困など）に対する社会的セーフティネット機能としても有効であり、子ども食堂など地域の多様なステークホルダーとの連携を基に地域共生社会実現に寄与するものである。フードドライブに関する見解を問う。	
	5 これからの市政運営について	(1) 施政方針は市長の意欲を感じるものであったと受け止めている。職員と一体となって突き進んでいただきたいが、見解を問う。 (2) 事務の効率化と市民の利便性を考えた行政事務執行が必要であるが、どのように考えているか問う。	
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">6</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">日本共産党 茅ヶ崎市議会議員団</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">中野 幸雄</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">3月7日/60分</p>	1 長期化するコロナ禍における市民を取り巻く経済状況について	(1) コロナ対応は感染防止と経済を動かす両面が重要であると叫ばれているが、現実の市民の経済状況について本市の認識を問う。 (2) 小児医療費助成事業の時的助成が継続となった。恒久的な施策と位置づけるべきと考えるが、本市の見解を問う。また、制度の拡大を県に要望していくことについて見解を問う。	
	2 地域福祉の重層的支援体制整備事業について	(1) 事業の具体的な取り組みのイメージと周知方法を問う。	
	3 小・中学校での一人一台端末配備について	(1) 教育現場にタブレット端末が欠かせないものとの評価であるが、その根拠を問う。 (2) 教職員、保護者、また、児童・生徒はどう評価しているか見解を問う。 (3) 学校図書館の電算化の具体的なイメージを問う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
7 ちがさき立憲クラブ 藤本 恵祐 3月7日/60分	1 さまざまな困難に直面する市民への支援施策について	(1) 重層的支援体制整備による相談・支援の拡充について問う。 (2) 生活困窮者に対する支援策について問う。 (3) 総合計画実施計画策定への反映について問う。	小磯 妙子
	2 次世代を担う市民の育成策について	(1) 生涯学習の推進について問う。 (2) 子育て世代への支援策について問う。 (3) 総合計画実施計画策定への反映について問う。	小磯 妙子
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
8 杉本 啓子 3月7日/30分	1 茅ヶ崎市の市税収入や市債の状況について	(1) 令和2年度から現在までの市税収入の推移と状況を問う。 (2) 令和2年度から現在までの市債の推移を問う。	
	2 茅ヶ崎市立病院の経営形態の変更などについて	(1) 今後の経営戦略やKPIの設定など、どのような組織体で策定し、誰がリーダーシップを取っていくのか、新たな経営立て直しのシステムを問う。 (2) 令和4年度は救急エリアの整備も行うとしているが、その投資により救急はどう変わろうとしているのかを問う。 (3) 今後の市立病院が「選ばれる病院」として目指すビジョンやミッションはどこにあるかを問う。	
	3 茅ヶ崎市のみどりの保全と公園などについて	(1) 緑のまちづくり基金は、ガイドラインの策定も重要だが、基金にまとまった額が確保されることが前提になる。基金へのまとまった積立金の確保をどう考えているのかを問う。	
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
9 藤村 優佳理 3月7日/30分	1 デジタル・トランスフォーメーションについて	(1) 施政方針を踏まえて、デジタル・トランスフォーメーション（教育・行政サービス・内部事務）による具体的な茅ヶ崎市の将来像について問う。	